



# ウィツキル通信

## Hypochlorous Acid Water NEWS Vol.17

### 新型コロナ第2波到来に備え

国から有効性が認定されたので

「次亜塩素酸水溶液」を

思いっきり有効活用します！

今回は昨年12月から「ウィツキル10000」を購入いただき、職場で活用されている「新明和工業株式会社流体事業部小野工場」様にかがいがい、お話を聞いてまいりました。兵庫県小野市の工業団地にあるこちらの工場では、設備用水中ポンプ、水中ミキサ、ブロワ等の製品を製造されています。

### 柴崎総務課長(衛生工学衛生管理者)のお話

・導入の経緯について

当工場では毎年、季節性インフルエンザの流行する時期になると事務所や製造工程の各職場でまとまった人数の罹患者が発生し、欠員により業務に支障がでることが多々ありました。会社としても予防接種促進のための補助金支給や、マスク着用、うがい、手洗いの励行、職場における加湿器の設置などといった諸対策を講じていましたが、決定的な対策にはいたっていませんでした。そのような課題を抱えている中で、昨年11月に代理店である株式会社中恒様よりご紹介いただいたのがきっかけです。現在は、「ウィツキル」を新型コロナウイルス対策の最有効手段として活用しています。

・職域のメイン消毒液として活用中！

新型コロナウイルスの接触感染を防止する

には、手すり、ドアノブ、共有する金属、プラスチック部分の消毒が必須ですが、市場における消毒用アルコールの供給が追いついておらず、適切な消毒手段がほとんどない状態が続いていました。そこで次亜塩素酸水が普及し始めたのですが、中でもこの「ウィツキル10000」は、他社の類似製品と比較して、圧倒的に濃度が高く、希釈量を調整することによって幅広い用途での使用が可能です。よって当工場では、触れる場所のほとんどすべてに対する清掃作業から、玄関やトイレほか、あらゆる場所での手指消毒まで幅広く活用しています。



それぞれの目的の希釈レベル毎に準備している「ウィツキル」消毒スプレー

### ・ウィツキルを活用した独自の消毒体制

今後、感染がどの程度拡大していくかは想像もつきませんが、当工場では、万一の感染者発生に備え、「ウィツキル」を活用した感染者発生時の職場消毒体制を構築いたしました。もしも、工場で感染者が発生した場合には、工場が一時的に閉鎖となり、解除には所轄する保健所と連携した消毒作業が必要となります。有事の際には、専門の消毒業者は対応に追われ、消毒を完了し閉鎖を解除するまでに

はかなりの時間を要することが想定され、お客様や従業員に対し大きな影響が生じると考えられます。そこで、自前で対応する体制の構築が必要であると考えました。工場などの広範囲な職域などでは、大量の消毒液を必要とするため、アルコールでの消毒作業は現実的ではありません。そこで、当工場では、「ウィツキル」を消毒液として活用し、目的に応じた希釈割合による消毒手順と自前の消毒用器具による体制を整え、BCP(事業継続計画)に織り込んで、消毒訓練を実行し、万に備えています。



↑ウィツキルを用いた「ハンディスプレー」による接近噴霧と消毒液の拭き取り作業

←ウィツキルを用いた「蓄圧式噴霧器」「電動式噴霧器」「ハンディスプレー」による散布訓練

# メーカー様アドバイスやクルーズ船での感染対応記録、保健所の各種資料に基づき独自に策定した「ウィツキル 1000」を使用した新型コロナウイルス職場消毒の手順

新明和工業株式会社 流体事業部 小野工場

- ①感染者の所属と職種・作業内容を特定する。
- ②感染者が長く滞留した職域を特定し、掲示するなど各職域の立ち入り禁止措置を講じる。
- ③担当者は所定の防護服一式を着用すると共に用具を携帯する。
- ④各職域の空間を密閉し 40ppm に希釈した「ウィツキル」を超音波式噴霧器により 2 時間程度、無人の空間に噴霧する。
- ⑤各職域内について 200ppm（噴霧して 5 分間乾かない量）に希釈した「ウィツキル」を蓄圧式噴霧器又は電動式噴霧器により、広範囲に噴霧し、（床などは泡式洗浄スプレーを使用）噴霧後に乾いた雑巾で拭き取る。
- ⑥100ppm の「ウィツキル」をボトルスプレーにて金属・プラスチック部分（ドアノブ、手すり）に噴霧し乾いた雑巾で拭き取る。
- ⑦40ppm に希釈した「ウィツキル」を超音波式噴霧器により 1 時間程度、無人の空間に噴霧する。

消毒用装具も完璧に準備されています→



←消毒作業用 ウィツキル 1000 18 リットル（原液）×5 箱（40ppm 希釈：2250 リットル相当）を万一の時のために備蓄して下さっています



・ウィツキルに大きく期待しています  
このたび「ウィツキル」の成分である「次亜塩素酸」の「新型コロナウイルス」に対する有効性が国の認証機関により正式に認定されたことで、来るかもしれない第2波への備えとしての自信が増しました。  
また、我々が定めた、「ウィツキル 1000」の活用方法が幅広く、自治体や企業などで普及し、世の中の新型コロナウイルスへの対策が加速していくことを願っております。

## 編集後記

今回、いろいろとお話をお聞きして、このような非常事態に企業として様々な努力をされている姿勢に感動いたしました。また、その中にウィツキルを活用してくださり、大変ありがとうございました。

6月26日、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）より、有効塩素濃度 80ppm 以上の次亜塩素酸水溶液は、新型コロナウイルスに効果があるとの発表がありました。こちらの工場様をはじめ多くの場所で、新型コロナウイルス対策に大いにお役立ていただけるものと確信しております。これからも、様々なユーザー様の期待にお応えし、社会に貢献できるよう企業努力を重ねてまいります。柴崎様、この度はお忙しい中貴重なお話を聞かせていただきありがとうございます。今後とも弊社の製品活用をどうぞよろしくお願いたします。

※尚、6月26日の独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の発表につきまして、次亜塩素酸水溶液の空間噴霧に関する弊社見解を弊社のホームページに掲載しておりますので、お読みいただければ幸いです。

ウィツキル通信に関するお問い合わせ、感想または取り上げて欲しいテーマ等ございましたら、ご遠慮なく上記アドレスにご連絡ください。

編集部一同心よりお待ちしております。